

SU Hip Brace

エスユーヒップブレース/股関節装具 SU

適切な動作制限による股関節のサポートと
装着時の快適性を両立した股関節装具。



SU Hip Brace

適切な動作制限と装着時の快適性を両立した

フィット性が良く、適切な肢位で動作を制限し股関節をサポートする装具です。角度制限可能なアルミ製ヒンジにより大腿骨を求心位に誘導することを目的とした股関節ストラップで股関節の安定化を目指します。また、体型に合わせ

〈主な用途〉股関節のサポート



SU Hip Brace 開発の想い

産業医科大学若松病院 整形外科・スポーツ関節鏡センター
診療教授・診療科長 内田 宗志 先生

■ 股関節鏡視下手術後の装具装着の必要性

近年股関節に対する関節鏡視下手術が目覚ましく発展していますが、当院でも大腿骨寛骨臼インピンジメント(femoroacetabular impingement; FAI)等に対し、鏡視下での手術を実施しております。股関節鏡視下手術では手術視野を確保するために関節包を部分的に切離する場合があります。関節内処置後に縫縮しますが、術後早期は関節不安定性が生じやすい状態となっているため、関節包の縫縮部への配慮が必要となります。股関節伸展角度が2°増すと、大腿骨頭の前方向への剪断力が23%増大すると報告されていることから、術後は関節包の伸長ストレスを避けることが重要になります。当院では腸骨大腿靱帯の伸長位である①伸展、②外旋、③内転を術後3週間は禁止し、装具を装着しています。同時に、修復した関節唇に負荷がかからないよう保護する役割も、装具を装着することで果たすことができます。

■ 股関節装具に求めること

まず大前提として、先に述べた動作(特に伸展・内転)を制限できることが求められます。SU Hip Brace はそれらの機能に加え、大転子を求心位へ誘導する専用ストラップを備えています。この専用ストラップが股関節の不安定性を軽減し、理想的な肢位を維持することに繋がります。患者様に安心感を与えることができ、術後の入院生活、リハビリを進めていく中での不安要素を減らすことに貢献できると考えています。

装具は約3週間装着しますが、患者様にとってはとても長い期間に感じるはずで、そんな中で、装具には装着を継続する上での快適性も求められます。SU Hip Brace はこの部分にもこだわっており、日本人の体型に合うよう、また患者様の体型に応じてフィットするような工夫がなされています。また、極力肌に触れる面積を少なくすることで通気性を確保し、蒸れ等による不快感も軽減しております。更に、必要な機能を備えなが

らも装具本体をコンパクトにまとめることで、患者様の装着コンプライアンスを向上させた装具となっています。

■ SU Hip Braceが有効な疾患

これまで股関節鏡視下手術後における装具の使用について述べてきましたが、SU Hip Braceはその他の症例においても有効な装具だと考えています。角度制限ブロックにより屈曲・伸展の角度制限が可能なことや、強力なアルミ製ヒンジにより内転・外転を抑制することができることから、股関節の脱臼予防にも有効だといえます。具体的には、人工股関節置換術後や、人工骨頭置換術後などの脱臼リスクの管理方法の一つとして使用できると考えています。

■ 股関節の痛み悩む患者様へ

股関節は身体の中でも最も大きな関節であり、体重を支え、立つ・歩くといった人間にとって基本的な動作を行なう上で大切な役割を果たしています。「SU Hip Brace」は、そんな大切な関節である股関節の痛み悩んでいる患者様に貢献できることを願っています。



股関節装具です。

る適切な動作制限と、

て成形できるカフや高さの調節ができるなど、快適な装着感も重視しています。



リハビリテーションにおける現場の声

産業医科大学若松病院 リハビリテーション科

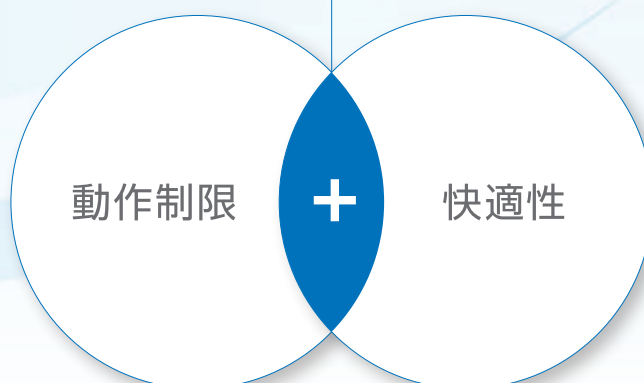
高橋 誠 先生

FAIの術後早期における歩行練習の注意点として、術後3週間は前方関節包への伸長ストレスを避けるために、股関節伸展角度を0°に制限し、術後3週経過後に徐々に正常歩行へ近づけていきます。SU Hip Braceは適切な角度制限が可能のため、安心してリハビリテーションを行うことができます。それに加え、患者様それぞれの体型にフィットした状態で装着できるため、装着感や快適性等、患者様の評判も非常に良いです。特に就寝時の快適性に関しては、装具を気にすることなくしっかり

と睡眠をとることができるといった声が聞かれています。また、股関節を安定させる専用ストラップが患者様に安心感を与えているのを実感しています。実際患者様からも、専用ストラップを外してしまうと不安があるといった声も聞こえており、その重要性を感じております。リハビリチームではこれからも患者様の意見を大切にしつつ、患者様が不安なく日常生活やスポーツへ復帰できるよう、サポートしていきます。

産業医科大学若松病院 におけるFAIに対する 股関節鏡視下手術後の リハビリテーション プロトコル		手術 当日	術後 1日	術後 1週	術後 2週	術後 3週	術後 4週	術後 5カ月
	入 院							
	リハビリ							
	歩 行		両松葉杖歩行				全荷重歩行	
	装 具							

SU Hip Brace



股関節の屈曲・伸展の動きを制限する アルミ製ヒンジ

屈曲・伸展制限については、患者様の状態に合わせて角度調節ができます。

ネジの位置をつけ替えるのみで簡単に角度調節が可能です。

また、強度の高いアルミ製ヒンジにより、股関節の内転・外転の動きを適度に制限します。

■角度調整

伸展	-15°	0°	15°	-	-	-	-	-
屈曲	-15°	0°	15°	30°	45°	60°	75°	90°

※本品は屈曲・伸展用ブロックの位置を変更することで、ヒンジの屈曲角度、伸展角度を調節することができます。出荷時は屈曲角度90°、伸展角度0°にセットされています。

※調節したヒンジの角度と股関節の角度は、一致しない場合があります。



SU Hip Brace 装着群・非装着群における股関節最大屈曲角度の違い

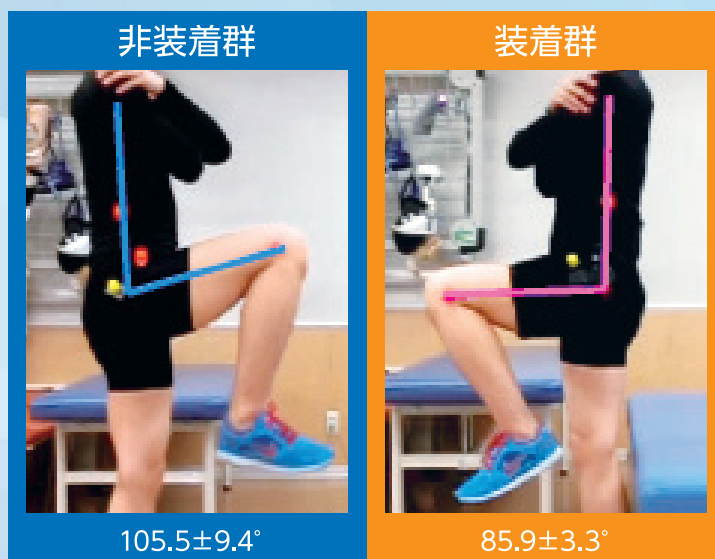
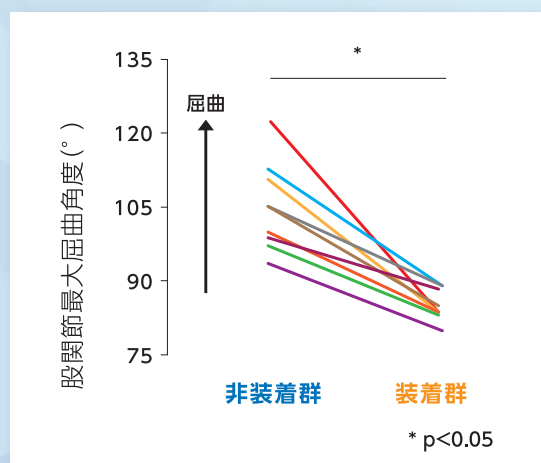
対象：8名

条件：① SU Hip Brace装着条件[屈曲75° で制限]

② 装具未装着条件

測定日：術後3週間後

計測項目：片脚上げ動作時の股関節最大屈曲角度



※平田海ら『Effects of a novel hip brace after hip arthroscopy surgery for femoroacetabular impingement』
第14回日本股関節鏡研究会, O2-6

結果：SU Hip Brace装着条件において、股関節最大屈曲角度が有意に減少した。

SU Hip Brace を装着することで屈曲動作を制限できることが示された。

股関節の不安定性を軽減する 股関節ストラップ

大腿骨を求心位に誘導し股関節の安定化を図ることを目的としています。

また、股関節ストラップは必要に応じて取り外しができます。



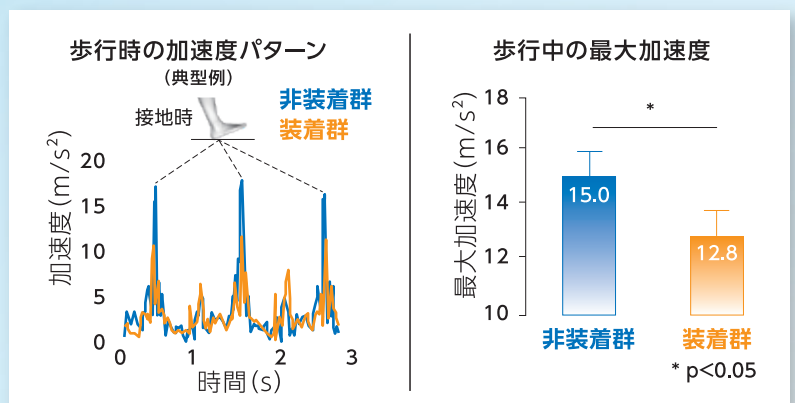
SU Hip Brace 装着群・非装着群における股関節安定性の違い

対象：8名

条件：① SU Hip Brace装着条件
② 装具未装着条件

測定日：術後3週間後

計測項目：大転子の加速度を3軸加速度計を使用し測定
歩行中の最大加速度を股関節の不安定性として評価した



※平田海ら「Effects of a novel hip brace after hip arthroscopy surgery for femoroacetabular impingement」
第14回日本股関節鏡研究会, O2-6

結果：SU Hip Brace装着条件において、
歩行中の大転子の最大加速度が有意に減少した。

股関節ストラップが大転子を求心位方向に圧迫することで、
接地直後の大転子の動揺性を減少させていると考えられる。

SU Hip Braceを装着することで
股関節の安定性が高まることが示唆された。

アルミ製ヒンジによる屈曲・伸展、内転・外転制限
＋
股関節専用ストラップによる股関節の安定化

適切な
動作制限

体型に合わせて調整可能な各種パーツ。 高いフィット性を重視しました。

さまざまな体型の方に合わせて調整しやすい設計です。骨盤カフ、大腿カフの形状やアルミ製ヒンジの高さを調整でき、高いフィット性を追求しました。また患者様にとっては、簡単に装着できることも重要。各種パーツを調整したあとは、面ファスナーでとめるだけで装着できます。

■骨盤カフ、大腿カフ

①高さの調整

高さは骨盤カフ、大腿カフとも15mmずつ3段階で調節ができるため、適切な製品丈で装着できます。

※出荷時は「中」の高さにセットされています。

②形状の調整

熱可塑性樹脂を採用。体型に合わせた形状に調整ができ、フィット性を高め、装着時の不快感を軽減します。



■アルミ製ヒンジ

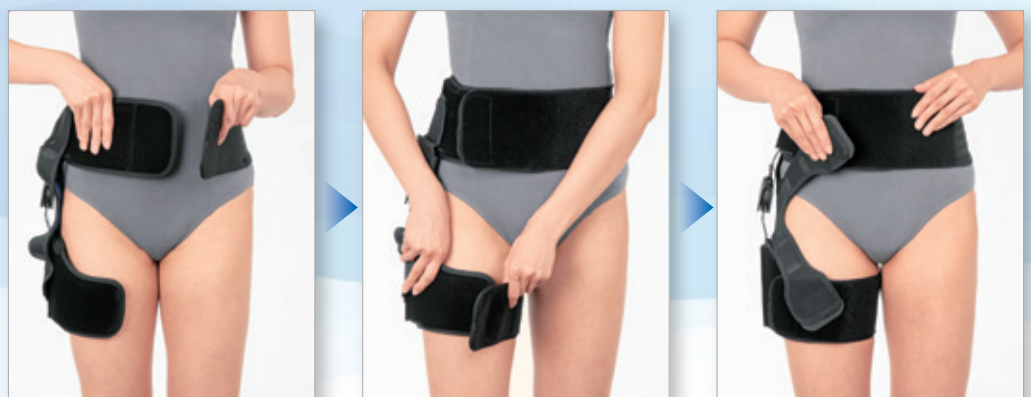
ヒンジはアルミ製のため、患者様の体型に合わせて、ヒンジを曲げて調整することができます。

※何度も大きな曲げ加工を繰り返さないでください。ヒンジの強度が低下するおそれがあります。



■簡単装着

始めに患者様の体型に合わせて各種パーツを調整したあとは、面ファスナーを取り外しするだけの簡単装着です。



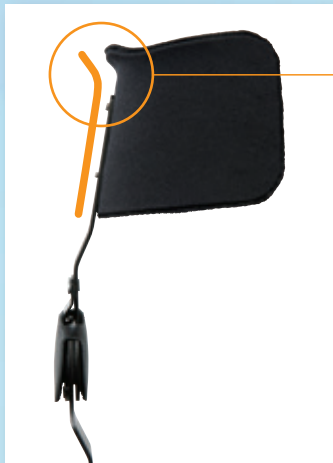
装着感・快適性を重視したデザイン。

長時間の装着でも快適に過ごせるよう肌へのあたりを軽減、軽量化を図るなど、装着感とフィット性を重視したデザインです。

日常の動きに合わせて追従しながら、適度に股関節をサポートします。

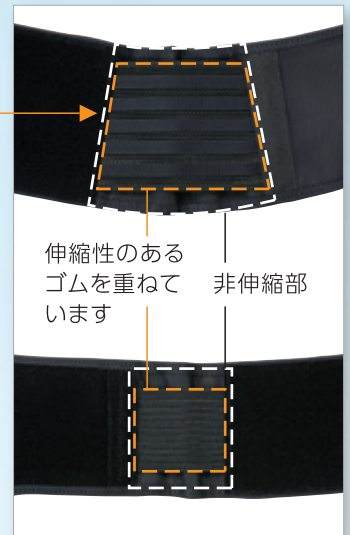
■骨盤カフ

骨盤カフの上部をカーブ状にし、座っているときや動いたときに肌や体へのあたりを軽減するよう設計しました。



■骨盤ベルト、大腿ベルト

骨盤ベルト、大腿ベルトの非伸縮部には伸縮性のあるゴムを重ね合わせています。動きに合わせて追従し適度に圧迫・フィットした状態を保ちます。



■軽量化・通気性に配慮したデザイン

肌に触れる面積を減らし、軽量化を図りました。ムレにくく装着しやすいデザインです。



■骨盤ベルト、大腿ベルト、

股関節ストラップは洗濯可能

骨盤ベルト・大腿ベルトはカフから外して、洗濯ができます。股関節ストラップも取り外して洗濯ができるので、清潔に使用できます。

■製品仕様

商品名	品番	種類		適用範囲 (胴囲)	目安 (大腿周囲)
SU Hip Brace 股関節装具 SU	240101	右	S	65cm～80cm	40cm～60cm
	240102		M	80cm～95cm	45cm～65cm
	240103		L	95cm～110cm	47cm～67cm
	240111	左	S	65cm～80cm	40cm～60cm
	240112		M	80cm～95cm	45cm～65cm
	240113		L	95cm～110cm	47cm～67cm

■サイズの選び方 胴囲に合わせて選んでください。胴囲はへその位置を目安に計測してください。
大腿周囲は大腿の最も太い位置を目安に計測してください。

※製品のお取り扱いにつきましては、下記の義肢装具製作所までお問い合わせください。

日本シグマックス株式会社

本社：〒163-6033 東京都新宿区西新宿6-8-1
お客様窓口 TEL.0800-222-6122(通話料無料)
受付時間：9時～17時(平日) ※土日、祝日、年末年始を除く

インターネットで日本シグマックスの情報をご覧いただけます。

日本シグマックスのホームページ <http://www.sigmax.co.jp/>

- 予告なく製品の仕様が変更になることがあります。
- カタログの写真と実際の製品とは、色などに違いがある場合があります。その点をご了承ください。
- 各製品は、付属の使用説明書・添付文書を必ずお読みになってからご使用ください。
- 各製品は、医師の指示に従って適切に使用してください。誤った使い方は怪我の原因ともなります。